

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校給食事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名		16-3.学校園施設等の整備											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2015 (H27) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	学校給食法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校で学校給食を喫食する児童生徒及びその保護者。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	子どもたちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむことが出来る状態。					
事業概要	<p>小学校全45校の児童を対象に、2箇所の共同調理場、3箇所の親子調理場及び25か所の単独調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を直営または委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>また、中学校全19校の生徒を対象に、第一学校給食共同調理場において調理、配送、食器・食缶等の洗浄、物資搬入管理、衛生・安全管理等の業務を委託で実施するとともに、米飯の炊飯や検便、施設の機械警備等の業務について業務委託により実施する。</p> <p>なお、中学校給食は、平成28年度から選択制ランチボックス方式により希望する生徒への提供を行っている。</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)		
	給食を通じて、児童・生徒の心身の健康が育まれる。	児童・生徒が安全で栄養バランスのとれた給食を摂ることができる。	給食を調理する。(小学校児童)		
指標設定	指標説明	喫食した食数	提供した食数	小学校児童数及び教員数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	単位	食	食	人
		目標 (見込み)	R2: 22,192, R3: 21,730, R4: 21,305, R5: 20,813	R2: 22,192, R3: 21,730, R4: 21,305, R5: 208,813	R2: 22,192, R3: 21,730, R4: 21,305, R5: 208,813
	実績	R2: 22,345	R2: 22,345	R2: 22,345	
	達成度	101%	101%	101%	
分析	※R2.6.15の給食喫食数 (R2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月14日まで学校臨時休業)	※R2.6.15の給食提供数 (R2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月14日まで学校臨時休業)	※R2.6.15の児童・教員数 (R2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月14日まで学校臨時休業)		

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	43.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	51.45
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	391,492	400,110	336,140		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	139,806	154,277	8,625		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	531,298	554,387	344,765		
	物件費計	831,905	853,799	852,304	873,030	98%	
歳出計		1,363,203	1,408,186	1,197,069			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	260	212	96		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	1		
	歳入計	0	260	212	97		
一般財源		1,363,203	1,407,926	852,092	872,933		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度当初は、新型コロナウイルス感染症対策による学校臨時休業や分散登校を行っていたため、令和2年6月15日から給食提供の開始となった。また、給食提供にあたっては、児童・生徒の身体の健全な発達に資するため、共同調理場及び単独調理場で調理した、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を調理し、児童・生徒へ提供することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	小中学校の児童・生徒に対し安全で栄養バランスのとれた給食をおいしく食べてもらえるよう、食育も含めた安定的な給食提供に継続して取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校給食調理場施設維持管理事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名		16-3.学校園施設等の整備											
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度			~			年度まで				
根拠法令等	学校給食法													
関係補助金名称												サンセット		~
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市立小中学校の学校給食調理場の設備等											
	サブターゲット		枚方市立小中学校で学校給食を喫食する児童生徒及びその保護者。											
	ターゲットが抱える課題		老朽化が進む調理場の効率的な維持管理や調理場のドライ化を進めなければならない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校給食衛生管理基準に基づいた適切な施設維持管理が行われることにより、安全でおいしい給食を安定的に児童生徒に提供する。													
事業概要	共同調理場・単独調理場において下記の維持管理業務等を実施する。 ……業務委託(塵芥処理・害虫駆除・各種設備定期点検・グリストラップ清掃等) ……各種改修工事(建築物・設備)													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	おいしい給食の喫食				学校給食調理場が適正に維持管理され、安全でおいしい給食が安定的に提供される。				必要な保守点検等を実施する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		提供食数		修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】		修理・修繕の実施件数							
	指標種類		単位 食		単位 %		単位 件							
	指標種類		減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値		4,149,904	406,510	3,984,035	3,892,031	80	80	80	80	210	210	210	210
実績						70				195				
達成度						113%				93%				
分析						緊急以外の修繕については、事前調査を行うことで適正な修繕依頼に努め、予算を抑えることができた。				必要な保守点検等を実施するとともに、緊急修繕においても適正に対応し、施設の維持管理に努めることができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	14,312	16,034	18,343		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	14,312	16,034	18,343		
	物件費計	77,326	79,323	59,012	84,705	70%	
	歳出計	91,638	95,357	77,355			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		91,638	95,357	59,012	84,705		

5. 総括的分析

総括的分析	必要な清掃や設備点検等については滞りなく実施できた。また、施設や設備の緊急対応以外の修繕等についても、事前調査の上、状況を見極め実施するなど適正運用に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	安全で衛生的な給食を安定的に提供できるよう、適正な施設の維持管理を継続していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	香里小学校単独調理場改修事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	改修を進める香里小学校単独調理場			
	サブターゲット	香里小学校の児童及び保護者			
	ターゲットが抱える課題	香里小学校単独調理場が老朽化することにより、安全・安心な学校給食の提供が出来なくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調理場の改修完了、および供用開始し、児童においしい給食を提供できる状態。				
事業概要	老朽化が進む香里小学校単独調理場について、香里小学校施設整備事業と一体的に行うことで、効率的・効果的な施設整備を行う。整備にあたっては、長寿命化改修を実施し、ドライシステムを導入する。香里小学校施設整備事業と一体的に行うため、平成29年度に実施設計、平成31年度に改修工事を実施し、令和2年度中の完成を目指す。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		小学校児童等に安定して継続的に、安全・安心な給食を提供できる。				小学校給食調理場と供用することで、安全安心の給食調理ができる。				小学校給食調理場改修を実施。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標説明		衛生面が充実した給食を食べる児童数/日				安全で安心な給食調理数/日				改修の進捗状況			
		単位		人		単位		食		単位		%	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	720	720	720	720	750	750	750	750	100			
	実績	720				750				100			
	達成度	100%				100%				100%			
	分析	改修中の共同調理場からの給食提供については、配送から提供まで十分に配慮し、全児童に衛生的な給食を提供することができた。				共同調理場については、令和2年度から食数増加となったが、継続した安全で安定的な調理を実施し、児童及び教職員へ遅延なく安心できる給食提供を行えた。				予定していた令和2年度中に改修を完了することができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	0	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	0	399	
	物件費計	0	0	178,500	179,530	99%
	歳出計	398	0	178,899		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	130,300	133,500	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	130,300	133,500	
一般財源		398	0	48,200	46,030	

5. 総括的分析

総括的分析	香里小学校施設整備事業と一体化した整備を行うことで、順調に改修工事が進捗し、目標とする令和2年度中にドライシステム化の改修工事を完了することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和2年度で、香里小学校単独調理場改修事業は完了した。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち												
	実行計画名														
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業					
事業期間	不明			年度	~				年度まで						
根拠法令等	学校給食法														
関係補助金名称												サンセット	~		
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		枚方市立小学校の給食を喫食する児童とその保護者												
	サブターゲット														
	ターゲットが抱える課題		この事業が進めなければ、老朽化が進む第3共同調理場を閉鎖できない。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	老朽化が進む第3共同調理場にかわる食数を確保する調理場を早期に整備し、給食の提供を行う。														
事業概要	第三学校給食共同調理場の老朽化対策のため、既存の小学校単独調理場6か所を共同調理場又は親子方式調理場に転換し、今後必要となる調理・配送能力を確保できるよう改築・改修を行い、小学校給食の安定的・継続的な提供を確保する。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	第三学校給食共同調理場に代わる給食数を提供できる。				第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業が着実に推進する。				第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業を実施する。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	おいしい給食の提供数				給食の提供を開始した親子調理場数				親子調理場への改修等工事完了数						
	単位 食				単位 件				単位 件						
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標(見込み)		7,440	-	-	-	6	-	-	-	2	-	-	-	
	実績		7,440				6				2				
達成度 100%				100%				100%							
分析				改修期間中においても、対象となる児童・教職員に、衛生的で安全な給食を遅延なく継続して提供することができた。				令和2年度に6箇所のセンター方式の共同調理場及び親子方式共同調理場が完成した。				予定していた2か所の調理場の改修が完了し、令和2年度で本事業を完了することができた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	18,287	8,017	9,570		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	18,287	8,017	9,570		
	物件費計	142,478	632,620	900,304	603,707	149%	
	歳出計	160,765	640,637	909,874			
歳入	国庫支出金	0	58,030	160,598	96,889		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	565,300	390,100		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	58,030	725,898	486,989		
一般財源		160,765	582,607	174,406	116,718		

5. 総括的分析

総括的分析	第三学校給食共同調理場が担っていた小学校の全児童及び教職員について、衛生的且つ安全な給食提供を継続しながら、目標としていた令和2年度中に6箇所小学校単独調理場を共同調理場や親子方式調理場へ改修・改築を完了し、今後も継続した安定的な給食提供の実施が可能となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和2年度で、第三学校給食共同調理場の老朽化対策事業は完了した。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校給食における地元農産物利用促進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2017(H29)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	学校給食法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市立小学校給食を喫食する児童				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	農家の減少により地元農産物の確保が困難になってきている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地元産の食材を使用した学校給食を提供する。					
事業概要	小学校給食用食材として大阪府内産を含めた地元農作物の利用促進を図り、第2次枚方市食育推進計画の目標である「米・野菜類全体購入量に対する枚方産及び府内産購入量の割合を(重量ベース)38%の達成に向け、取り組みを進める。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	学校給食を通じた食育(地域産業や食文化への関心と理解を深めるなど)が推進する。	小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物の利用が促進する。				小学校給食用食材として、大阪府内産を含む地元農作物を使用する。						
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	給食に枚方・大阪府内産の米・野菜を使用していること知っている児童・保護者の割合				米・野菜類全体購入量に対する枚方・大阪府内産の割合(重量ベース)				大阪府内産を含む地元農作物の使用品目数対前年度比			
指標設定	単位				単位				単位			
	%				%				%			
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
指標数値	100	100	100	100	38	38	38	38	100	100	100	100
実績	0				33.30				95.80			
達成度	0%				88%				96%			
分析	毎月の献立表で枚方市産野菜の使用予定を記載して周知。現時点で児童・保護者の認知度調査は未実施。				令和1年度達成率(74.2%)より13.8ポイントの上昇となった				令和2年4月~6月14日まで新型コロナウイルス感染拡大防止で、学校臨時休業であり、学校給食が実施されなかったためこの間に使用する予定であった枚方産野菜の使用がなかったため、100%に届かなかった。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	802	0	
	物件費計	0	0	0	0	—
歳出計		795	802	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		795	802	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症対策・学校臨時休業、分散登校により、令和2年6月15日より給食開始となったが、野菜類については、枚方産・府内産合わせて23品目で32.0トン、うち枚方産は18品目20.8トンを使用し、米については、北河内産米を含む大阪産を175.1トン使用でき、府内産購入量の割合は33.3%であった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	農家数の減少や天候等により厳しい状況も懸念されるが、手法等の検討も行いながら、目標達成に向け継続して実施していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	食物アレルギー対応推進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2017(H29)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	学校給食法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市立小中学校で給食を喫食する食物アレルギーを持つ児童生徒				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食してしまう。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	食物アレルギーを持つ児童生徒がアレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食を提供する。					
事業概要	食物アレルギー対応の適切かつ的確な取り組みを進める。 学校給食における食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)が0件となるよう、より一層の安全を確保する。 中学校給食において、7大アレルゲンを使用しない代替食の提供を毎日行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	安心・安全な枚方の給食が提供される。	食物アレルギーを持つ児童生徒が、アレルゲンのある給食を誤食しないよう安全な給食が提供される。	「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づいた対応を実施する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	安心して給食が食べられると感じている保護者割合	食物アレルギー対応上の事故(救急搬送)件数(新規発症を除く)	対応マニュアルに基づいた対応を実施している小・中学校数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 件	単位: 校
	目標(見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: 100, R5: 100	R2: 0, R3: 0, R4: 0, R5: 0	R2: 64, R3: 64, R4: 64, R5: 64
	実績	R2: 0, R3: , R4: , R5:	R2: 0, R3: , R4: , R5:	R2: 64, R3: , R4: , R5:
達成度	0%	100%	100%	
分析	現時点で児童・保護者の認知度調査は未実施	食物アレルギー対応献立表の活用等により、誤食等での緊急搬送件数が0件(達成率100%)であったと分析	市内全校においてマニュアルに基づいた対応が実施できた	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,385	2,405	2,393	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	2,385	2,405	2,393	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	2,385	2,405	2,393		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	2,385	2,405	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	学校と連携しながら、マニュアルに基づいた運用を適正に行うことで、食物アレルギーのある児童・生徒に対し安全な給食提供を実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	食物アレルギーのある児童・生徒が安心して給食を喫食できるよう、今後もマニュアルを遵守し、安全な給食提供を継続していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中学校給食充実事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総合教育部				課	おいしい給食課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名		16-2.快適で安心できる学習環境づくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市立中学校で給食を喫食する生徒、その保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	生徒たちの食生活の栄養の偏り、不規則な食事、肥満や生活習慣病の増加、過度の痩身志向などの課題			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生徒たちに学校給食を通じて、食育を行い生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくむ。				
事業概要	選択制の中学校給食について、喫食率向上に向けた取り組みを進める中で、生徒・保護者の意向も踏まえ、全員喫食への拡充を目指す。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	給食を通じて、生徒の心身の健康が育まれる。	各種取り組みを通じて、中学校給食が充実する。				中学校給食喫食率の向上に向けた取り組みを実施する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	喫食率				中学校給食新規申請者数				献立表発行部数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35	40	45	50	110	505	508	507	14,000	14,000	14,000	14,000
	実績	33.80				352				12,800			
達成度	97%				320%				91%				
分析	R1年度達成率より2ポイント上昇。 (喫食率はR1年度比0.4ポイント微増) ※R2年度平均喫食率;33.8%				※実績数は、R2.6(年度初め)とR3.3(年度終わり)の給食申込生徒数の差で示す。				生徒人数の減少及び余分部数の見直しにより発行必要部数実績が減少				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,771	12,026	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	4,771	12,026	0	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	4,771	12,026	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		4,771	12,026	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大による臨時休業や分散登校も見据え、臨時的な給食の提供ができるとともに、非常時の保護者負担の軽減を図ることができるよう、民間調理場の活用も含めた供給体制の検証を行った。また、選択制での中学校給食の喫食率については、中学校やPTAと連携した取組等を進め、目標喫食率確保に努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	学校給食を通じた食育の発展につなげていけるよう、栄養バランスの充実した給食の喫食率向上について、今後も手法等を検討しながら引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業(学校臨時休業対策事業)											
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	~	年度まで	
根拠法令等						
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	小中学校児童生徒と保護者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	学校臨時休業時及び新型コロナウイルス感染症にかかる出席停止時の保護者の給食費負担				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の学校給食休止及び出席停止者における給食費の負担を軽減するとともに、学校給食の適正運用を図る。					
事業概要	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時の給食休止及び出席停止者における給食費を補助する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)										
	新型コロナウイルス感染症の影響下での学校給食の適正運用が可能になる。	給食費の補助により、保護者負担が軽減できる。	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時及び出席停止時における給食費の補助										
指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)										
	適正運用率 【算出式: 給食費補助額/(学校臨時休業日数×給食費+出席停止日数×給食費)×100】	学校臨時休業及び出席停止期間における給食費の保護者負担額。	新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休業時及び出席停止時における給食費補助食数										
指標設定	単位	%	単位	円	単位	食							
	指標種類	増加することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	-	-	-	0	-	-	-	32,346	-	-	-
実績	100				0				20,555				
達成度	100%				100%				64%				
分析	適正な運用を行うことができた。		保護者の負担額がないことが目標となっており、実績も負担はなかったことから、実際の達成度は100%である。				想定より、学校臨時休業数及び出席停止に伴う停止食数が少なかったことに伴い、達成度が低くなった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	8,773	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	8,773	
	物件費計	—	—	119,260	126,263	94%
	歳出計	—	—	128,033		
歳入	国庫支出金	—	—	22,889	20,909	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	22,889	20,909	
	一般財源	—	—	96,371	105,354	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校時及び出席停止に対し、保護者負担なく適正な運用を行うことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	学校給食について、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急時においても、保護者や児童・生徒に安心できる対応を継続できるよう引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	中学校給食における全員給食実施事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名		16-2.快適で安心できる学習環境づくり										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	学校給食法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立中学校生徒			
	サブターゲット	市立中学校生徒の保護者			
	ターゲットが抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の健康増進と栄養バランスの確保 ・食への理解、望ましい食習慣など食育の推進 			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成長期にある中学生が食育の実践とも言える、栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食を安定して摂ることで、健康な身体をつくとともに、生涯に渡る健康で豊かな食生活を送るための基礎を培うことが期待できる全員給食の実施。				
事業概要	中学校給食は、子どもたちに栄養バランスの良い豊かな食事を提供するもので、健康増進や体位向上に加え、食育の教材として活用しやすくなり、より豊かな学校生活をめざすため、中学校の全員給食を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		中学校給食における全員給食が実施できる。				配膳室等整備を計画通りに実施することで、中学給食の環境整備を適切に進める。				配膳室等整備計画に基づき、配膳室の整備を実施。			
指標設定	指標説明	全員給食実施率 【算出式: 全員給食実施校数/全中学校数×100】				各年度における計画達成率 【算出式: 整備数/中学校数×100】				配膳室整備件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	10	10	10	10	10	10	100	2	2	2	17
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
	分析	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急時の学校給食体制の検証として、全員給食の臨時的取り組みを実施し、課題等の洗い出しを行った。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う給食の臨時休業や欠席者等の緊急対応等もあり、臨時的取り組みによる検証の実施に留まった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う給食の臨時休業や欠席者等の緊急対応等もあり、臨時的取り組みによる検証の実施に留まった。			
ロジックモデル②		中学校給食における全員給食が実施できる。				備品等購入計画を計画通りに実施することにより、中学給食の環境整備を適切に進める。				備品等購入計画に基づき、備品等を購入する。			
指標設定②	指標説明	全員給食実施率 【算出式: 全員給食実施校数/全中学校数×100】				各年度における計画の達成率 【算出式: 備品等整備校数/全中学校数×100】				備品等購入件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	10	10	10	10	10	10	100	2	0	0	17
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
	分析	新型コロナウイルス感染症に伴う緊急時の学校給食体制の検証として、全員給食の臨時的取り組みを実施し、課題等の洗い出しを行った。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う給食の臨時休業や欠席者等の緊急対応等もあり環境整備の実施に至らなかった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う給食の臨時休業や欠席者等の緊急対応等もあり環境整備の実施に至らなかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	—	—	15,950	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	—	—	15,950	
	物件費計	—	—	761	467	163%
	歳出計	—	—	16,711		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	761	467	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う給食の臨時休業や欠席者等の緊急対応等もあり、また、中学校においても学校運営にかかる新たな対応に追われるなど、予定していた取り組みを行うことが難しかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和5年度の目標達成に向け、他部署との調整を図りながら、環境整備等に取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	おいしい給食課運営事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部			課	おいしい給食課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	おいしい給食課職員・職場				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	おいしい給食課の各事業が円滑に執行できない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	おいしい給食課の各事業が円滑に執行できている状態。					
事業概要	課の運営事務					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.25
任期付職員	1.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	40,153	40,887	46,113		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,599	3,561	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	41,752	44,448	46,113		
	物件費計	3,097	4,787	308	305	101%	
	歳出計	44,849	49,235	46,421			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	37	100		
	歳入計	0	0	37	100		
一般財源		44,849	49,235	271	205		

5. 総括的分析

総括的分析	各運営事務について、組織として円滑に事務執行を行うことにより、安全で栄養バランスのとれた美味しい学校給食を確実に児童・生徒へ提供できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	他部局や各調理場との連絡、調整を図りながら、正確かつ迅速に事務処理を行い、円滑な事務執行を行う。